

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社阿波銀行（証券コード:8388）

### 【据置】

長期発行体格付 格付の見通し	AA- 安定的
-------------------	------------

### ■格付事由

- 徳島市に本店を置く資金量3兆円超の地方銀行。中小企業融資に特化したビジネスモデルを活かし、県内のみならず関東・関西エリアでも業容を拡大させている。21年4月からは野村証券との金融商品仲介業務における包括的業務提携を開始し、預り資産残高の拡大を軸に非金利ビジネスの強化に取り組んでいる。県内の預貸金シェアは高く事業基盤が強固である点、厳しい事業環境の中で高い収益性と資本充実度を維持している点を評価している。一方、コロナ禍で資産の質に下押し圧力がかかっている。与信費用をコア業務純益で余裕をもって吸収していけるかが当面の注目点である。
- コア業務純益（投資信託の解約益を除く。以下同じ。）は21/3期に続き、22/3期上半期でも前期比増加した。ROA（コア業務純益ベース）は通期換算ベースで0.4%と他の有力地銀と比較して良好である。コロナ禍の融資の伸長や外貨調達コストの減少に加えて、非金利収益の増加が収益を牽引している。当行は県内から県外へ経営資源の再配分を進めており、関東・関西エリアで着実にメイン先を増やしている。加えて、近年、取り組みを強化しているシップファイナンスで着実に残高を積み増している。貸出金は中小企業向けを中心に堅調に推移するとみられるうえ、利回りの低下幅は縮小傾向にあり、金利収益は底堅く推移すると考えられる。また、預り資産残高は野村証券との提携開始後、前年を大きく上回るペースで増加しており、非金利収益を拡大させる余地は十分にある。こうした収益改善の要素がコア業務純益の一段の改善に結び付いていくか、JCRは注目していく。
- 金融再生法開示債権比率は2%台半ばと地銀平均をやや上回る。中小企業融資のウェイトが高いため小口分散が効いている一方、景気後退局面において与信費用が膨らみやすい。21/3期ではランクダウンを主因として、与信費用はコア業務純益の3割半ばに膨らんだ。22/3期も前期に近い水準が計画されている。コロナ禍で要注意先債権は増加傾向にあるため、当面の動向を注視していく。一方、有価証券残高に大きな変動はみられず、債券の金利リスクは引き続き資本対比で小さくコントロールされている。株式の価格変動リスクが大きいものの、多額の含み益がバッファーとして機能している。
- 貸倒引当金などを控除した調整後の連結コア資本比率は、21年9月末11%台前半。自己資本は貸出資産や有価証券にかかるリスクに対して十分な厚みがある。今後も着実な利益蓄積により、AAレンジとして問題のない資本水準が維持されるとJCRはみている。

（担当）坂井 英和・南澤 輝

### ■格付対象

発行体：株式会社阿波銀行

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年1月27日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：松村 省三  
主任格付アナリスト：坂井 英和
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「銀行等」(2021年10月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社阿波銀行
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル